

認定便り
2019年8月号

小児救急看護認定看護師 江川美佳

～子どもの事故防止～

子どもの目線で考えてみよう

事故は防ぎようのない運命的なもの（accident：アクシデント）
ではなく**予防可能なもの**（injury：インジャリー）です

子どもの死亡原因
に**不慮の事故**は
毎年上位3位以内
に入っている

※5～9歳の男の子は
死因の第1位

平成28年子どもの不慮の事故死因

第1位 交通事故	自転車や自動車の乗車中の事故
第2位 窒息	就寝時、食品やおもちゃの誤えん
第3位 溺水	浴槽での溺れ

消費者庁

子どもの事故を予防するために大人ができること

- ◆ 子どもは成長発達の途中にいることを理解する
- ◆ 子どもの視力は弱く（6歳頃に大人と同じくらい）、視野は大人より狭い
- ◆ 子どもにあったヘルメットや自転車、チャイルドシートを正しく装着する
- ◆ 交通ルールや遊具の正しい使用方法について繰り返し説明する
- ◆ 就寝時はうつ伏せ寝を避ける
- ◆ 子どもが飲み込みやすい大きさを誤飲チェッカーで確認する（3歳の最大口径約39mm、喉の奥51mm）
- ◆ 子どもにとって危険な物は子どもの手が届くところに置かない（床から1m以上高い所に置く、鍵をかける）
- ◆ 溺水時は静かに溺れるので、水遊びや入浴中は目を離さないようにする
- ◆ 浴槽内に入れないようにする
- ◆ **心肺蘇生の技術を身に付ける！**



子どもの事故に関する情報は、消費者庁ホームページ、こどもの救急ホームページ（日本小児科学会）